

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	50%	自校A B層の割合	55%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 必ずその授業の学習目標を提示する。 生徒同士が情報を共有する話し合い活動の場を設定する。 単元・教材の振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テスト、計算力テストを定期的実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の学習方法を検討し合い、学年だよりや掲示物で紹介する。 定期考査前に学習計画表を作成させ、実施を促す。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 全員が自信をもって答えられる問題を授業中、ワークシート等に数問設定し、自己肯定感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習サポートを放課後補習事業者と連携して実施する。 学年で実施の補充学習教室を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習ノートを作成し、毎日1ページ学習し、担任に提出する。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査質問用紙「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」 <p>指標 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査質問用紙「授業の内容はよくわかりますか」 <p>指標 国語 90%以上 数学 95%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査質問用紙「ゲーム、SNS、動画視聴に関係する時間が2時間より少ない生徒の割合」 <p>指標 50%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の授業時間以外の勉強時間1時間以上の回答割合 <p>指標 70%以上</p>